JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

Criterion

取扱説明書

株式会社 太陽インターナショナル
〒 103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに 2

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために） 3

パッケージの中身 4

パッケージの開梱 5

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて 6

＜保護＞ 6

設置について 7

設置に関しての注意事項 7

設置方法 8

各部名称 9

【フロントパネル】 9

【リアパネル】 10

ご使用方法 11

フロントパネルの操作 11

リモートコントロールの操作 13

メニュー機能 15

メニューリスト 16

メニュー項目の説明 17

リアパネルの接続（ライン、スピーカーケーブル） 20

故障かな？と思ったら 22

アフターサービスについて 23

仕様 24

問い合わせ先 25

はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただいたクライテリオンは、世界で最も優れたオーディオアンプであると確信しています。クライテリオンの綿密に設計された内部と精密に作り出されたシャーシー、製造技術の確かさは、リスナーに大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

クライテリオンの設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのクライテリオンのシリアルナンバーは、PC および PB の文字から始まります。このナンバーは保証書及び本体のリアパネルに記載してあります。クライテリオンに関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば、幸いです。

Enjoy the music!

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

⚠注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

⚠警告

- 定格電圧AC 100V にてご使用下さい。
- 付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
- ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
- 水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠注意

- 本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
- 本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
- 湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
- ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
- 室内温度が5℃～40℃の範囲でご使用下さい。
- 振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
- オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
- AC電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
- ご使用中はバッテリーカバーを開けないでください。また DC ケーブルを抜かないようにしてください。

［お手入れについて］

- 本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

⚠注意

- リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずAC電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

本機のパッケージには下記のものが含まれています。

- クライテリオン　本体（上段・下段）
- DC ケーブル（2 本）
- 球体インシュレーター（4 個）
- リモートコントロール
- リモート受光部
- 受光部接続ケーブル
- AC電源ケーブル
- 3P アダプタ
- 保証登録書
- 取扱説明書

注意：付属の AC 電源ケーブル、DC ケーブルは、クライテリオン専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

パッケージの開梱

本機は重量があります。本機の取出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行なって下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行なってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

クライテリオンのシャシーは航空機グレードのハード・アルミニウムによるくり抜き加工という、コストを無視した革新的な構造になっています。フロントパネルはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

- 最初の6ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
- トップカバー、サイドカバー、ボタンカバーは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。水はシャシーには直接つけず、布につけます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。
- フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

設置について

設置に関しての注意事項

アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

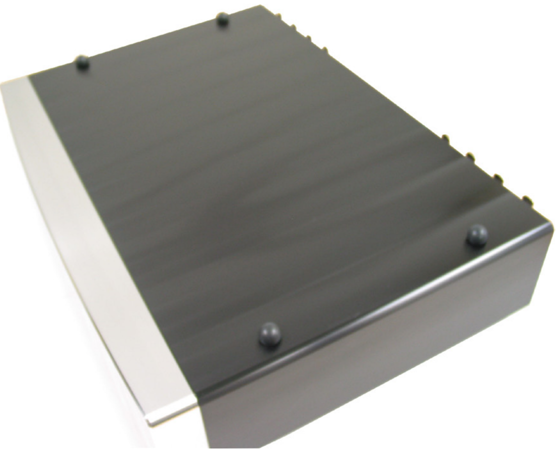
本機はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

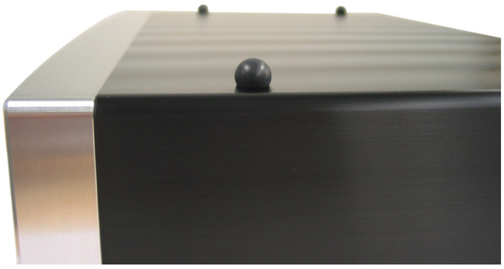
- 定格電圧 AC100V にてご使用下さい。
- 湿度の多い場所では使用しないで下さい。
- ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
- AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。（改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください）
- 水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
- 使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。3ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って2ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
- 雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
  また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
- AC電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。

設置方法

クライテリオンは上下に重ねて使用するように設計されております。
下記の手順で設置してください。

1. 下段の天板に球体インシュレーターを乗せる





2. 本体上段を重ねる

3. DC ケーブルを接続する

注意：接続する際、上下段の”L”と”R”同士を接続してください。

※ DC ケーブルには方向性はありません。

各部名称

【フロントパネル】

❶ MAIN DISPLAY（メインディスプレイ）

❷ INPUT SELECTOR 1 ～ 6（入力チャンネルセレクトボタン）

❸ RECORD（録音セレクトボタン）

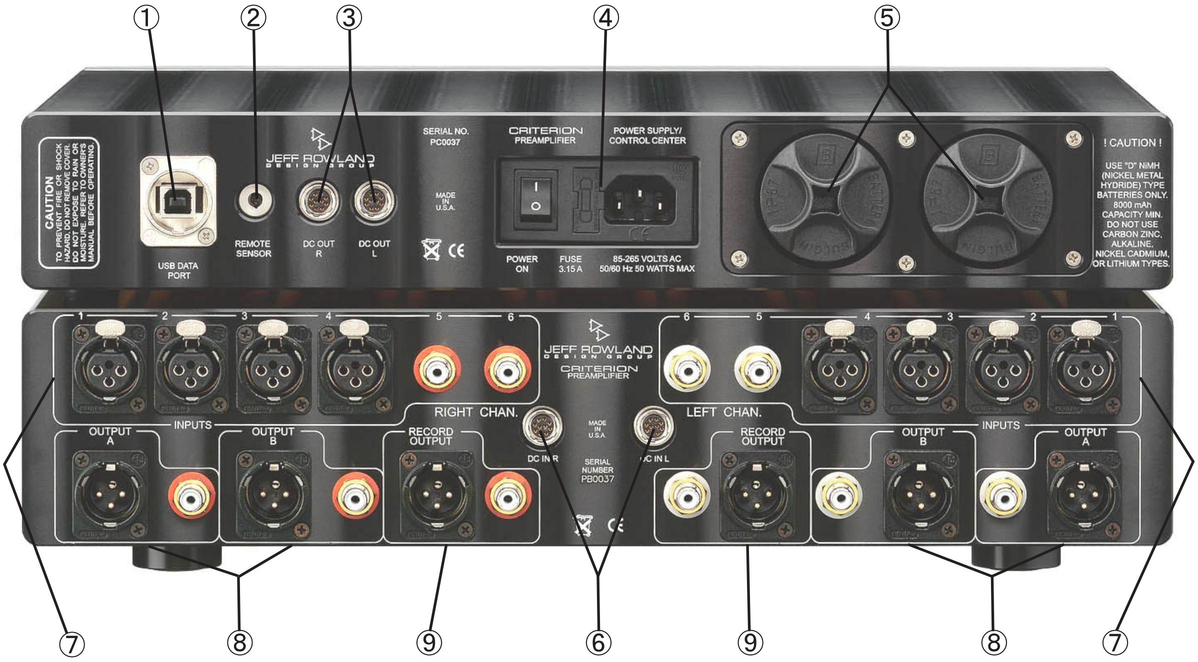
❹ MENU（メニューボタン）

❺ STANDBY（スタンバイボタン）

❻ MUTE（ミュートボタン）

❼ VOLUME CONTROL（ボリュームコントロールノブ）

【リアパネル】



① USB DATA PORT（USB データ接続端子）

② REMOTE CONTROL SENSOR（リモートコントロール受光部接続端子）

③ DC POWER OUTPUT L&R（DC ケーブル出力端子）

④ POWER ENTRY MODULE（AC 電源入力 / スイッチ）

⑤ BATTERY ACCESS COVER（バッテリーアクセスカバー）

⑥ DC POWER INPUT（DC ケーブル入力端子）

⑦ INPUT 1 ～ 4:XLR / 5 ～ 6:RCA（入力端子）

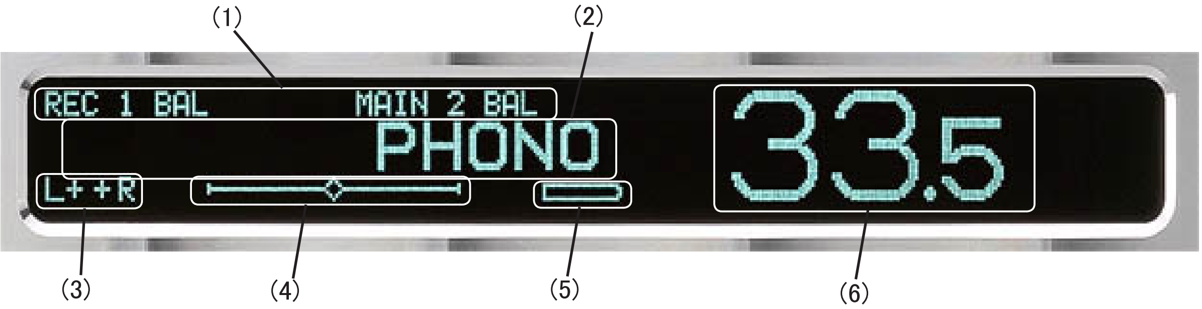
⑧ OUTPUT A / B（メイン出力端子 A / B）

⑨ RECORD OUTPUT（録音出力端子）

ご使用方法

フロントパネルの操作

❶ MAIN DISPLAY（メインディスプレイ）



(1) Input Number（入力チャンネル）
現在選択している録音入力チャンネル（左）、メイン入力チャンネル（右）が表示されます。
＜例＞ REC 5 UNB　MAIN 1 BAL
BAL はバランス入力 (XLR) を意味します。また UNB はアンバランス入力 (RCA) を意味します。

(2) Input Name（入力チャンネル名）
入力チャンネルのすぐ下に現れる表示が入力名です。選択された入力チャンネルの名称が表示されます。
工場出荷段階では、全ての録音チャンネル名は入力されていません。
この入力チャンネル名はメニューより用意されている名称に変更することが出来ます。
どの入力チャンネル名に変更しても、信号に変化はありません。ただし、BYPASS（バイパス）は例外です。
(後述のメニューオプションで説明します)

(3) Phase Indicator（位相表示）
L+ +R は位相が両チャンネルともノーマルである（正相）ことを示します。他に、L− +R（左チャンネル逆相）、L+ −R（右チャンネル逆相）、L− −R（両チャンネル逆相）と選択できます。
位相の変更はメニューで行います。

(4) Balance Indicator（バランス表示）
左右チャンネルのバランスを表示します。バーの中心に◇が表示されているときはセンターの状態です。左右どちらかにシフトするとカーソルが■に変わります。
バランスの調整はメニューで行います。

(5) Battery Charge Indicator（バッテリー充電表示）
通常バッテリーの残量を示しています。バッテリー残量がフルに充電されている状態では全体が点灯しします。バッテリーが使用されるにつれて点灯部分が消えて、残量がなくなったときには外形だけになります。
充電中は、バッテリーマークは連続して周期的に下図のように繰り返し表示します。（ → → → → ）
バッテリーモードでご使用の場合、B という表示がバッテリーインジケーターの左に表示されます。

(6) Volume Indicator（ボリューム表示）
ディスプレイの右側にメイン入力ボリュームが表示されています。録音出力レベル（RECORD OUT LEVEL）が選択されている場合 (メニューで操作、またはリモコンの REC OUT VOL +/− ボタン) は、録音ボリュームが表示されます。
ボリュームは 0.0 から 99.5 までの範囲内で、0.5dB の増減で表示されます。99.5 が最大ゲインです。

(7) Mute Indicator（ミュート表示）

ミュートは 20dB 減衰と、フルミュートの２種類があります。
ミュートをしていない状態では、ボリューム表示の数字が表示されます。

72.5

１回ミュートボタンを押すと、下記の表示になります。その場合メイン入力ボリュームは 20dB 減衰されます。ボリューム表示も 20.0 下がります。

[52.5]

もう１回ミュートボタン押すとフルミュートになります。フルミュートにした場合は下記の表示になります。この場合のボリューム表示はミュートにする直前の通常の表示となります。

[72.5]

もう１度ミュートを押すとミュートは解除されます。

❷ INPUT SELECTOR 1 ～ 6（入力チャンネルセレクトボタン）

1 ～ 6 まで指定した入力チャンネルをボタンによって選択します。

❸ RECORD（録音セレクトボタン）

録音チャンネル選択モード (RECORD SELECT) に入ります。
フロントパネルの RECORD ボタンを押し、録音する INPUT SERECTOR 1 ～ 6 ボタンを押すことによって録音チャンネルを選択します。メニューから録音チャンネル選択 (RECORD SELECT) を呼び出すことによっても選択できます。この録音選択モードはメイン入力チャンネル番号が選択されるまで録音選択のままです。

❹ MENU（メニューボタン）

メニューモードに入ります。メニューオプションを選択、そしてメニューモードの終了にも使用します。後述のメニュー機能をご参照ください。

❺ STANDBY（スタンバイボタン）

スタンドバイと通常の動作を切り替えます。スタンドバイは消費電力を減らし、ディスプレイを消します。演奏時にこのボタンを押すと、出力はミュートされます。ボリューム (フロントパネルのノブを回す、またはリモートコントロールの Vol +/- ボタンを押す) を調整することでもスタンドバイから解除されます。

❻ MUTE（ミュートボタン）

-20dB ミュート、フルミュート (完全消音)、ミュート解除を繰り返します。ミュートボタンを 10 秒ほど押し続けると強制リセット（工場出荷時設定）となります。(メインスクリーンの場合)

❼ VOLUME CONTROL（ボリュームコントロールノブ）

通常ボリュームを設定します。またメニューのスクロール、バランスの調整、入力オフセット、出力 2 オフセット、録音レベル / ボリューム等、メニューに従って調整します。
ボリュームノブを押すことによって、メニューボタンと同じ機能となります。

リモートコントロールの操作

１～６（入力チャンネル）
　メイン入力チャンネルを選択します。録音選択モードの場合には録音入力チャンネルを選択します。

PHASE（位相）
　位相をL、R両チャンネルとも正相（L+ +R）から逆相（L- -R）へ設定します。

MUTE（ミュート）
　-20dBミュート、フルミュート(完全消音)、ミュート解除を繰り返します。(メインスクリーンの場合)

VOL +/-（メインボリューム調整）
　メインスクリーンの場合、メインボリュームの調整をします。RECORD OUT LEVEL（録音出力レベル）モードでは録音ボリュームを調整します。

OUT 2 VOL +/-（メイン出力Bアンバランス ゲイン調整）
　OUT 2 OFFSETメニューに入り、アンバランスメイン出力Bのレベルを調整します。
　ENTER、EXITボタンでこのモードが終了します。

REC OUT VOL +/-（録音出力ゲイン調整）
　REC OUT LEVELメニューに入り、録音信号のレベルを調整します。
　ENTER、EXITボタンでこのモードが終了します。

↑（ナビゲーションボタン 上）
　メニューモードではメニュー表示をスクロールアップします。MEIN MENU == カーソルと相対に動きます。

↓（ナビゲーションボタン 下）
　メニューモードではメニュー表示をスクロールダウンします。MEIN MENU == カーソルと相対に動きます。

←（ナビゲーションボタン 左）
　メインスクリーンの場合には、(メニュー機能ではない場合)AC/充電モードで動作します。
　BALANCE（バランス）モードでは、ステレオイメージを左側にシフトします。
　INPUT OFFSET、OUT 2 OFFSETメニューモードではゲインを減衰させます。(カーソル左へ)

→（ナビゲーションボタン 右）
　メインスクリーンの場合には、(メニュー機能ではない)バッテリーモードで動作します。
　BALANCE（バランス）モードでは、ステレオイメージを右側にシフトします。
　INPUT OFFSET、OUT 2 OFFSETメニューモードではゲインを増加させます。(カーソル右へ)

ENTER（ナビゲーションボタン中央）
　フロントパネルのメニューボタンと同じ機能を行います。

EXIT

メニューモードを終了させ、メインスクリーンに戻ります。

［リモートコントロールの電池交換について］

下部にあるマイナスネジ（1 個）をゆるめ、ふたを取り外してください。乾電池はアルカリの単三（2本）を使用してください。

◆ NOTE ◆

本機のリモートコントロールは赤外線方式のため、他の電化製品等でリモートコントロールをご使用時に、テレビの音量が連動して上がってしまうなど、まれに誤作動をすることがあります。その場合は該当機器を離すか、又は当社サービス課までご連絡ください。

メニュー機能

メニューモードへの切り替えには何種類かの方法があります。フロントパネルの MENU ボタン、ボリュームコントロール、リモートの ENTER ボタンで切り替わります。
全て同じ動作を行います。

ディスプレイのメインスクリーン (メニュー機能ではない状態) からメニューボタンのどれかを押すことでメニューモードに入ります。

メニューモードに入っている場合には、ノブ、またはリモートのアップダウンボタンによってメニュー選択をスクロールさせます。それによって、MAIN MENU== ポインターによってではなく、メニュー表示がスクロールされます。
例えば、ノブを右に回すとメニューリストがアップします。

希望するメニューにスクロールした後、メニューをもう一度押すことで、そのメニュー機能を選択し、そしてメニューを終了します。

メニューリスト

CANCEL MENU
BALANCE
RUN ON BATTERY
RUN ON AC/CHARGE
STOP CHARGING
STANDBY
RECORD SELECT
PHASE NORMAL
INVERT BOTH
INVERT LEFT
INVERT RIGHT
INPUT OFFSET
OUT 2 OFFSET
RECORD OUT LEVEL
NAME – AUX
NAME – BLURAY
NAME – BYPASS
NAME – CABLE
NAME – CD
NAME – CD 1
NAME – CD 2
NAME – DAC
NAME – DAC 1
NAME – DAC 2
NAME – DAT
NAME – DAW
NAME – DVD
NAME – DVDREC
NAME – DVR
NAME – DVR 1
NAME – DVR 2
NAME – iPOD(tm)
NAME – LD
NAME – MP3
NAME – NET
NAME – PHONO
NAME – PHONO 1
NAME – PHONO 2
NAME – SAT
NAME – SERVER
NAME – TAPE
NAME – TAPE 1
NAME – TAPE 2
NAME – TUNER
NAME – TUNER 1
NAME – TUNER 2
NAME – VCR
NAME – (NC)
NAME – (OPEN)
NAME – -----
NAME –
REMOTE DEFAULT
REMOTE ALT 1
REMOTE ALT 2
REMOTE ALT 3
DISPLAY HIGH
DISPLAY MIDIUM
DISPLAY LOW
DISPLAY ON
DISPLAY OFF 5S
DISPLAY OFF 15S
FACTRY DEFAULTS
Rev x.x.xxxxx

メニュー項目の説明

CANCEL MENU（メニューキャンセル）

メニューボタンを押すとメニューモードはキャンセルとなり、ディスプレイはメインスクリーンに戻ります。

BALANCE（バランス調整）

左右ゲインを 0.5dB ステップで調整します。左にシフトすることで左チャンネルゲインは増加、右チャンネルゲインは減少します。逆は左チャンネル減少、右チャンネル増加となります。

バランス表示バーはバランスシフトの相対量を表示します。ボリュームノブ、またはリモートの← →ボタンによって調整します。

バランス調整は全ての入力チャンネルに対して影響します。（個別の入力チャンネルに対しては設定できません）

RUN ON BATTERY（バッテリー駆動）

バッテリーオペレーションでは内部的に AC パワーサプライから独立し、(電源を切って) バッテリーのみによって動作することになります。これはリモートの→ボタンよってでも変更できます。(メインスクリーンの場合)

フル充電状態からバッテリーで約 3 時間動作します。

バッテリー充電容量がほとんどなくなると、自動的に RUN ON AC/CHARGE（AC/ 充電）モードに入ります。STOP CHARGING（充電停止）をメニューオプションか手動で選択した場合にはバッテリーへの充電を中止します。

RUN ON AC/CHARGE（AC/ 充電）

このモードにするとバッテリーの充電を開始します。リモートの←ボタンでもこのモードになります。(メインスクリーンの場合)

本機の充電回路は過充電、過放電を防ぎます。

本機が電源から外されたり、リアパネルスイッチがオフになった場合、バッテリーの充電状態は保持されません。再び AC 電源が接続された時はアンプは充電容量ゼロの状態から始まると、認識します。

STOP CHARGING（充電停止）

充電停止します。その場合には AC で駆動されます。充電は通常自動的に終了するので、このオプションは純粋にオプションとしてあるだけです。

STANDBY（スタンドバイ）

スタンドバイモードに入ります。メイン入力ボリューム (リモートの VOL+/－ ボタン、フロントパスタンドバイと通常の動作を切り替えます。スタンドバイは消費電力を減らし、ディスプレイを消します。演奏時にこのボタンを押すと、出力はミュートされます。ボリューム (フロントパネルのノブを回す、またはリモートコントロールの Vol +/－ ボタンを押す) を調整することでもスタンドバイから解除されます。

RECORD SELECT（録音チャンネル選択）

録音チャンネル選択（SELECT REC#）モードに入ってから、録音チャンネル番号（フロントパネルの 1 ～ 6）を選択します。フロントパネルの録音 (RECORD) ボタンを押すことによってもメニューモードの録音チャンネル選択と同様の作動をします。メイン入力が選択されるまではこのモードを保持します。

例：録音チャンネル 3 番を選択する場合

・Menu ボタンを押してメニューに入る

・メニューディスプレイを RECORD SELECT までスクロールする

・Menu ボタンを押す（ディスプレイ左上に SELECT REC # が表示され、RECORD SELECT が有効な状態）

・入力チャンネルボタン 3 を押す（ディスプレイの左上に REC 3 BAL が表示される）
・メイン入力チャンネルを選択するため数字ボタンを押し、録音選択モードが終了する

PHASE NORMAL（位相正相）

位相を左右両チャンネルとも正相に設定します。ディスプレイの左下部に L+ +R と表示されます。

INVERT BOTH（位相逆相）

位相を左右両チャンネルとも逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L− −R と表示されます。

INVERT LEFT（位相左逆送）

位相を左チャンネルのみ逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L− +R と表示されます。

INVERT RIGHT（位相右逆送）

位相を右チャンネルのみ逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L+ −R と表示されます。

INPUT OFFSET（入力ゲイン調整）

選択されている入力チャンネルを +/−20dB（一目盛り 0.5dB）まで調整することができます。入力ソース機器の出力ゲインが極端に高い、または低い場合に有効です。各チャンネル毎に設定できます。
INPUT OFFSET を選択すると、バランス表示バーはその時にオフセットする量を表示します。フロントパネルノブかリモートの←、→ボタンによってゲインを調整します。

OUT 2 OFFSET（出力 2 ゲイン調整）

メイン出力 B のアンバランスのゲインを +/−20dB（一目盛り 0.5dB）まで調整することができます。
メイン出力 A のアンバランスおよびメイン出力 A/B のバランスは変化ありません。
OUT 2 OFFSET を選択すると、バランス表示バーは一時的にオフセットする量を表示します。
フロントパネルノブかリモートの←、→ボタン、OUT 2 VOL +/− によってゲインを調整します。

RECORD OUT LEVEL（録音出力レベル）

録音信号回路のレベル (ボリューム) を調整することができます。
RECORD OUT LEVEL を選択すると、メインボリューム表示は録音信号回路のゲインを一時的に表示します。
フロントパネルノブかリモートの←、→ボタン、REC OUT VOL +/− によってゲインを調整します。

NAME − ○○（入力名）

入力チャンネルの名称を選択するために多くのラベル用の名称が登録されています。
名称は直近に選択されたメイン入力番号に対して指定されます。

入力名を BYPASS に設定しますと、全体の入力ゲインを 0dB に固定し、ボリューム表示を " —— .−" にします。

REMOTE DEFAULT（リモート初期設定）
出荷時の赤外線リモートコントロールコードを選択します。

REMOTE ALT 1（リモートコントロール 1）
REMOTE ALT 2（リモートコントロール 2）
REMOTE ALT 3（リモートコントロール 3）
他のリモート（テレビ等）と同期するときに使用します。
詳しくは販売店または当社までご連絡下さい。

工場設定（FACTORY DEFAULTS）
全ての設定、調整を工場出荷時に戻します。

DISPLAY HIGH（ディスプレイ輝度 高）
メインディスプレイの輝度を最高度にします。

DISPLAY MIDIUM（ディスプレイ輝度 中）
メインディスプレイの輝度を中程度にします。

DISPLAY LOW（ディスプレイ輝度 低）
メインディスプレイの輝度を最低にします。

DISPLAY ON（ディスプレイ表示）
メインディスプレイを常に点灯させます。

DISPLAY OFF 5S（ディスプレイ 非表示 5 秒）
メインディスプレイを操作終了 5 秒後に非表示（消灯）にします。フロントパネルおよびリモコンを動作しますと表示（点灯）されます。

DISPLAY OFF 15S（ディスプレイ 非表示 15 秒）
メインディスプレイを操作終了 15 秒後に非表示（消灯）にします。フロントパネルおよびリモコンを動作しますと表示（点灯）されます。

Rev X.X.XXXXX
マイクロプロセッサーのファームウェアバージョンを表示しています。

◆ NOTE ◆

本機のリモートコントロールは赤外線方式のため、他の電化製品等でリモートコントロールをご使用時に、テレビの音量が連動して上がってしまうなど、まれに誤作動をすることがあります。その場合は該当機器を離すか、又は当社サービス課までご連絡ください。

リアパネルの接続（ライン、スピーカーケーブル）

① USB DATA PORT（USB データ接続端子）

　(現在対応しておりません。今後のアップデートにより対応する予定です)

② REMOTE CONTROL SENSOR（リモートコントロール受光部接続端子）

　リモート受光部接続ケーブルを使用し、リモート受光部と接続します。ケーブルに〝PRE-AMP END〞と記している方をアンプ側に挿してください。

③ DC POWER OUTPUT L&R（DC ケーブル出力端子）

⑥ DC POWER INPUT（DC ケーブル入力端子）

　付属の DC ケーブルを使用し、③と⑥を接続してください。（DC ケーブルには方向性はありません）

◆ NOTE ◆

接続する際、③と⑥の”L”と”L”、”R”と”R”同士を接続してください。

⚠注意

付属されている DC ケーブル以外は絶対に使用しないでください。アンプの故障の原因となります。他のケーブルを使用した場合は保証の対象外となります。

④ POWER INLET / SWITCH（AC 電源入力 / スイッチ）

　付属のAC電源ケーブルを接続します。

　AC 電源スイッチが「○」が押されていている場合は OFF、「｜」が押されている場合は ON です。全て接続してから ON にして下さい。

⚠注意

AC 電源ケーブルは、クリーン電源や安定化電源は使用せず、壁からのコンセントに直接接続して下さい。アンプの故障の原因となります。

⑤ BATTERY ACCESS COVER（バッテリーアクセスカバー）

この内部にバッテリーが搭載されています。交換方法は当社または販売店にご連絡ください。

⑦ INPUT 1 ～ 4:XLR / 5 ～ 6:RCA（入力端子）

ライン入力端子です。1 ～ 4 バランス（XLR）、5 ～ 6 はアンバランス（RCA）です。市販のオーディオ用ラインケーブルを使用してください。もし入力機器に RCA、XLR 出力端子が共にあるときは XLR（バランス）接続をお勧めいたします。

⑧ OUTPUT A / B / RECORD（出力端子）

パワーアンプ等と接続する端子です。市販のオーディオ用ラインケーブルを使用してください。この 2 系統の OUTPUT は回路的には同じですので、どちらを使用してもかまいません。 もしパワーアンプに RCA、XLR 入力端子が共にあるときは XLR（バランス）接続をお勧めいたします。

⑨ RECORD OUTPUT（録音出力端子）

録音機器等の入力端子と接続する端子です。市販のオーディオ用ラインケーブルを使用してください。もし録音機器に RCA、XLR 入力端子が共にあるときは XLR（バランス）接続をお勧めいたします。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない

・パワーサプライのAC電源ケーブルは、正しく接続されていますか？
・コンセントに AC100V が通じていますか？

音が出ない

・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか？
・アンプのボリュームレベルは、上がっていますか？
・アンプのラインセレクターは、合っていますか？
・ミュートボタンが押されていませんか？

リモートコントロールが働かない

・電池電圧が低下していませんか？

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後10日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより1年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

仕様

ゲイン	各チャンネル毎に 0 ～ 20dB で設定可能
ゲインレンジ	99.5dB, 199 ステップ
周波数特性	10Hz ～ 300kHz, -3dB @ 8Ω
最大入力レベル	13.5V (RMS) @ 0dB ゲイン
最大出力レベル	13.5V (RMS)
THD + N ノイズレベル	0.003% 以下 （2V 出力時 , 50-20kHz）
S/N 比	100dB 以上
チャンネルセパレーション	99.5dB
入力端子	
バランス 4 チャンネル (XLR)	
アンバランス	2 チャンネル (RCA)
メイン出力端子	
バランス 2 チャンネル (XLR)	
アンバランス	2 チャンネル (RCA)
録音出力端子	
バランス 1 チャンネル (XLR)	
アンバランス	1 チャンネル (RCA)
入力インピーダンス	
アンバランス	40kΩ
バランス	40kΩ
出力インピーダンス	
アンバランス	60Ω
バランス	60Ω
消費電力	最小 15W 最大 50W
外寸 (mm)	162 × 394 × 311 （最大寸法）
重量	21kg

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

TEL： 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX： 03-6225-2778

ホームページ： http://www.taiyo-international.com

09-10-2009